

第一類
官制
海軍特攻部規程

下
白

丙十九

二二六

1867

山崎 晃

●海軍施設部教導設営班規程

改正昭和九年第六〇五八號
昭和十九年六月一日
内令第七百三十一號
海軍施設部教導設営班規程左ノ通改正ス

海軍施設部教導設営班規程

第一條 大東亞戰爭中軍港ニ在ル海軍施設部ニ教導設営班ヲ置
竝ニ領海及高雄要港

第二條 海軍施設部教導設営班ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 特設設営隊員タルベキ軍人ノ技術教育及訓練並ニ工員ノ養成
- 二 特設設営隊ノ進出準備ノ助成
- 三 當該海軍施設部ノ實施スル研究、實驗、應急工事及直營工事ノ中海軍施設部長ノ指定スルモノ

第三條 海軍施設部教導設営班ニ班長、班員及附ヲ置ク當該海軍施設部ノ職員ノ中ヨリ海軍施設部長之ヲ命ズ

第四條 班長ハ海軍施設部長ノ命ヲ承ケ班務ヲ掌理ス

第五條 班員ハ班長ノ命ヲ承ケ服務ス

第六條 附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第一類 官制 海軍施設部教導設営班規程 海軍施設部工員養成所ニ關スル件

二八ノ三

●海軍施設部工員養成所ニ關スル件

改正 昭和十九年第七二四號
昭和十八年八月十八日
内令第七百四號

海軍施設部工員養成所ニ關スル件左ノ通定メラル

軍港及要港（徳山及馬公要港ヲ除ク）ニ在ル海軍施設部ニ工員養成所ヲ置ク

15

28.3

28.3

1868

第一類 官制 軍港ニ在ル海軍軍需部ニ置ク所要ノ課

●軍港ニ在ル海軍軍需部ニ置ク所要ノ課

昭和三十六年九月二十六日
内令第千二百二十五號

改正 昭和十九年第六六號

軍港ニ在ル海軍軍需部ニ置ク所要ノ課左ノ通定メラル

軍港ニ在ル海軍軍需部ニ置ク所要ノ課	
横須賀海軍軍需部	會計課、第一課、第三課、第四課、 第五課、研究課
吳海軍軍需部	會計課、第一課、第三課、第四課、 第五課
佐世保海軍軍需部	會計課、第一課、第三課、第四課、 第五課
舞鶴海軍軍需部	會計課、第一課、第三課、第四課、 第五課

附則

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

下白

二八ノ四

1869

1870
1871
1872

●航空兵器供給所ノ名稱及所在地

昭和十八年十月十一日
内令第二百二十三號

改正 昭和十八年第六五三號、一九年第四八一號、第四八一號ノ二、第八三六號、
第九二四號ノ二、第九三四號、
航空兵器供給所ノ名稱及所在地左ノ通定ム

四十九

名	稱	所	在	地
第一海軍航空廠	設ク浦	補給工場	茨城縣	稻敷郡阿見村
第一海軍航空廠	小泉	補給工場	群馬縣	邑樂郡大川村
第一海軍航空廠	松島	補給工場	宮城縣	桃生郡矢本町
第二海軍航空廠	須賀	補給工場	神奈川縣	横須賀市
第二海軍航空廠	木更津	補給工場	千葉縣	木更津市
第二海軍航空廠	館山	補給工場	千葉縣	館山市
第二海軍航空廠	鈴鹿	補給工場	三重縣	鈴鹿市
第二海軍航空廠	河和	補給工場	愛知縣	知多郡河和町
第二海軍航空廠	磯崎	補給工場	東京府	小笠原列島磯崎島
第二海軍航空廠	平塚	補給工場	神奈川縣	平塚市
第二海軍航空廠	瀬谷	補給工場	神奈川縣	横濱市戸塚區瀬谷町
第二海軍航空廠	豊橋	補給工場	愛知縣	濑見郡老津村

第一類 官制 航空兵器供給所ノ名稱及所在地

三〇二四ノ一

1870

1873
1874
1875

第一類 官制 航空兵器供給所ノ名稱及所在地

第二十一海軍航空廠大井補給工場	靜岡縣榛原郡勝田村
第十一海軍航空廠吳補給工場	廣島縣吳市
第十一海軍航空廠岩國補給工場	山口縣岩國市
第十一海軍航空廠小松島補給工場	德島縣那賀郡板野村
第十一海軍航空廠德島補給工場	德島縣板野郡松茂村
第十一海軍航空廠秋付補給工場	廣島縣安藝郡江田島村
第十一海軍航空廠切串補給工場	廣島縣安藝郡江田島村
第十一海軍航空廠詫間補給工場	香川縣三豊郡詫間村
第十一海軍航空廠築城補給工場	福岡縣築上郡築城
第十一海軍航空廠大阪補給工場	大阪市淀川區大和田町
第十一海軍航空廠大井補給工場	大分縣大分市
兵庫縣武庫郡鳴尾村	大分縣南海部郡佐伯町
第十二海軍航空廠宇佐補給工場	大分縣宇佐郡柳浦村
第二十一海軍航空廠日宇補給工場	長崎縣佐世保市日宇町
第二十一海軍航空廠大村補給工場	長崎縣大村市

三〇ノ二四ノ二

因

休

第一類 官 柳 航 軍 兵 器 供 持 所 名 稱 及 所 在 地

第 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 大	非	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 吳	補 給	
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 小	島	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 德	島	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 秋	付	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 切	申	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 詔	間	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 築	城	補 給
第 十 一 海	海 軍	航 空	航 空	廠 大	阪	補 給
第 十 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 大	分	補 給
第 十 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 佐	伯	補 給
第 十 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 佐	伯	補 給
第 十 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 宇	佐	補 給
第 十 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 宇	日	補 給
第 十 二 海	海 軍	航 空	航 空	廠 大	村	補 給

1873
1874
1875

1873
1874
1875

第一類 官制 航空兵器供給所ノ名稱及所在地

第二十一海軍航空廠大村補給工場	長崎縣大村市
第二十一海軍航空廠日宇補給工場	長崎縣佐世保市日宇町
第十二海軍航空廠宇佐補給工場	大分縣宇佐郡柳浦村
第十二海軍航空廠佐伯補給工場	大分縣南海部郡佐伯町
第十二海軍航空廠大分補給工場	大分縣大分市
第十一海軍航空廠大阪補給工場	大阪府淀川區大和田町
第十一海軍航空廠築城補給工場	福岡縣築上郡築城
第十一海軍航空廠詫間補給工場	香川縣三豊郡詫間村
第十一海軍航空廠切申補給工場	廣島縣安藝郡江田島村
第十一海軍航空廠秋付補給工場	廣島縣安藝郡江田島村
第十一海軍航空廠德島補給工場	德島縣板野郡松茂村
第十一海軍航空廠小松島補給工場	德島縣那賀郡板野村
第十一海軍航空廠岩國補給工場	山口縣岩國市
第十一海軍航空廠吳補給工場	廣島縣吳市
第二海軍航空廠大井補給工場	靜岡縣榛原郡勝間田村

三〇ノ二四ノ二

四九

係

1876
1877
1878

第二十一海軍航空廠沖繩補給工場
沖繩縣島尻郡小祿村

第二十一海軍航空廠博多補給工場	福岡縣糟屋郡志賀島村
第二十一海軍航空廠上海補給工場	中支江蘇省上海
第二十一海軍航空廠平瀬補給工場	長崎縣佐世保市崎邊
第二十一海軍航空廠青島補給工場	長崎縣佐世保市廣畑
第二十二海軍航空廠鹿屋補給工場	中華民國青島特別市滄口
第二十二海軍航空廠出水補給工場	鹿兒島縣鹿屋市
第二十二海軍航空廠鹿兒島補給工場	鹿兒島縣出水郡出水町
第三十一海軍航空廠舞鶴補給工場	京都府舞鶴市
第三十一海軍航空廠岩子補給工場	京都府舞鶴市
第三十一海軍航空廠栗田補給工場	京都府與謝郡栗田村
第三十一海軍航空廠美保補給工場	鳥取縣西伯郡大篠津村
第四十一海軍航空廠大湊補給工場	青森縣下北郡大湊町
第四十一海軍航空廠下北補給工場	青森縣下北郡田名部町

30,24,3

第一類 官制 航空兵器供給所ノ名稱及所在地

三〇二四三

四十九

第一類 官制 航機兵器供所ノ名及所在ノ地

第四	第十四	海軍航空廠	下北	補給工場
第四	第十四	海軍航空廠	大湊	補給工場
第三	第十三	海軍航空廠	美保	補給工場
第三	第十三	海軍航空廠	栗田	補給工場
第三	第十三	海軍航空廠	岩子	補給工場
第三	第十三	海軍航空廠	舞鶴	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	鹿兒島	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	川水	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	鹿屋	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	青島	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	平瀬	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	廣瀬	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	上野	補給工場
第二	第十二	海軍航空廠	博多	補給工場

1876
1877
1878

30,24,3

1876
1877
1878

30, 24, 13

第二十一海軍航空廠博多補給工場	福岡縣糟屋郡志賀島村
第二十一海軍航空廠上海補給工場	中支江蘇省上海
第二十一海軍航空廠崎邊補給工場	長崎縣佐世保市崎邊
第二十一海軍航空廠廣畑補給工場	長崎縣佐世保市廣畑
第二十一海軍航空廠平瀬補給工場	長崎縣佐世保市平瀬
第二十一海軍航空廠青島補給工場	中華民國青島特別市滄口
第二十二海軍航空廠鹿屋補給工場	鹿児島縣鹿屋市
第二十二海軍航空廠出水補給工場	鹿児島縣出水郡出水町
第二十二海軍航空廠鹿兒島補給工場	鹿児島縣鹿兒島市
第三十一海軍航空廠舞鶴補給工場	京都府舞鶴市
第三十一海軍航空廠岩子補給工場	京都府舞鶴市
第三十一海軍航空廠栗田補給工場	京都府與謝郡栗田村
第三十二海軍航空廠美保補給工場	鳥取縣西伯郡大篠津村
第四十一海軍航空廠大湊補給工場	青森縣下北郡大湊町
第四十一海軍航空廠下北補給工場	青森縣下北郡田名部町

第一類 官制 航空兵器供給所ノ名稱及所在地

三〇ノ二四ノ三

四十九

302414

第一類 官制 航空兵器供給所ノ名稱及所在地

第四十二	海軍航空廠千歲支廠千歲補給工場	北海道千歲郡千歲町
第四十一	海軍航空廠千歲支廠美幌補給工場	北海道網走郡美幌町
第四十	海軍航空廠三澤補給工場	青森縣上北郡三澤町
第三十九	海軍航空廠鎮海補給工場	朝鮮慶尙南道昌原郡鎮海邑
第三十八	海軍航空廠元山補給工場	朝鮮咸鏡南道德源郡縣面斗南里
第三十七	海軍航空廠高雄補給工場	臺灣高雄州岡山郡岡山街
第三十六	海軍航空廠新竹補給工場	臺灣新竹市崙子字南勢
第三十五	海軍航空廠東港補給工場	臺灣高雄州東港郡東港街
第三十四	海軍航空廠海口補給工場	海南島海口
第三十三	海軍航空廠三亞補給工場	海南島三亞

三〇ノ二〇ノ〇

丙子

1879

海軍航空隊ノ名稱及所在地ノ表

所	名	稱	所
豊後縣	豊後	海軍航空隊	豊後縣
松山縣	松山	海軍航空隊	松山縣
名古屋縣	名古屋	海軍航空隊	名古屋縣
愛知縣	愛知	海軍航空隊	愛知縣
北陸縣	北陸	海軍航空隊	北陸縣
神戶縣	神戶	海軍航空隊	神戶縣
京都府	京都	海軍航空隊	京都府
大阪府	大阪	海軍航空隊	大阪府
岡山縣	岡山	海軍航空隊	岡山縣
香川県	香川	海軍航空隊	香川県
徳島縣	徳島	海軍航空隊	徳島縣
高松縣	高松	海軍航空隊	高松縣
愛媛縣	愛媛	海軍航空隊	愛媛縣
高知縣	高知	海軍航空隊	高知縣

1888

海軍航空隊ノ前ニ三國海軍航空隊ノ一ト懸擇海軍航空
習航本隊ニ指定ノ件由本ノ通改正セラル

1888
1888
1888

又原駐基地ノ名稱及所在地
昭和十七年七月十二日
昭和十七年七月十二日
昭和十七年七月十二日

30.40

横須賀鎮守府

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

横須賀海軍航空隊	横須賀軍港	
三重海軍航空隊	三重縣一志郡	
土浦海軍航空隊	茨城縣稻敷郡	
洲ノ崎海軍航空隊	千葉縣館山北條市	
第二河和海軍航空隊	愛知縣知多郡	
河和海軍航空隊	愛知縣知多郡	
第二岡崎海軍航空隊	愛知縣碧海郡	
岡崎海軍航空隊	愛知縣碧海郡	
藤澤海軍航空隊	神奈川県藤澤市	
追濱海軍航空隊	横須賀軍港	
第二相模野海軍航空隊	神奈川県高座郡	
相模野海軍航空隊	神奈川県高座郡	
香取海軍航空隊	千葉縣匝瑳郡	
郡山海軍航空隊	福島縣田村郡	
大井海軍航空隊	静岡県榛原郡	
鈴鹿海軍航空隊	三重縣河襲郡	

三〇八〇〇

1883

四十九

1884
1885
1886

川
島

永
井

30,401

19

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

第六〇一海軍航空隊	第六〇二海軍航空隊	第三〇二海軍航空隊	第二二一海軍航空隊	第二〇三海軍航空隊	第二〇一海軍航空隊	第一三海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	東カロン海軍航空隊	マリアナ海軍航空隊	南方諸島海軍航空隊	關東海軍航空隊	父島海軍航空隊	大湊海軍航空隊	館山海軍航空隊
	明治航空基地(愛知縣碧海郡)								トラツク	大宮島	硫黃島	千葉縣木更津市	東京府小笠原島父島	大湊要港	千葉縣館山北條市
厚木航空基地(神奈川縣高座郡)	松島航空基地(宮城縣桃生郡)	横須賀航空基地(神奈川縣横須賀市)	香取航空基地(千葉縣匝瑳郡)	厚木航空基地(神奈川縣高座郡)	木更津航空基地(千葉縣君津郡)	霞ヶ浦航空基地(茨城縣稻敷郡)	霞ヶ浦航空基地(茨城縣稻敷郡)	霞ヶ浦航空基地(茨城縣稻敷郡)							

三〇ノ四〇ノ一

中
四
九

1884
1885
1886

永井

第一類 官制
海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

第六〇一海軍航空隊		厚木航空基地(神奈川県高座郡)
第五〇二海軍航空隊		松島航空基地(宮城県桃生郡)
第三〇二海軍航空隊		横須賀航空基地(神奈川県横須賀市)
第二二一海軍航空隊		香取航空基地(千葉県匝瑳郡)
第二〇三海軍航空隊		厚木航空基地(神奈川県高座郡)
第二〇一海軍航空隊		木更津航空基地(千葉県君津郡)
第一三海軍航空隊		霞ヶ浦航空基地(茨城県稲敷郡)
第一二海軍航空隊		霞ヶ浦航空基地(茨城県稲敷郡)
第一一海軍航空隊		霞ヶ浦航空基地(茨城県稲敷郡)
東カロリン海軍航空隊	トラツク	
マリアナ海軍航空隊	大宮島	
南方諸島海軍航空隊	硫黄島	
關東海軍航空隊	千葉縣木更津市	
父島海軍航空隊	東京府小笠原島父島	
大湊海軍航空隊	大湊要港	
館山海軍航空隊	千葉縣館山北條市	

三〇ノ四〇ノ一

中
内

30,40,2

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

三〇ノ四〇ノ二

第七〇一海軍航空隊		豐橋航空基地(愛知縣渥美郡)
第七〇五海軍航空隊		三澤航空基地(青森縣上北郡)
第八〇一海軍航空隊		橫濱航空基地(神奈川縣橫濱市)
第九〇一海軍航空隊		千歲航空基地(北海道千歲郡)
第一〇〇一海軍航空隊		木更津航空基地(千葉縣木更津市)
第一〇二海軍航空隊		香取航空基地(千葉縣匝瑳郡)
第一〇三海軍航空隊		木更津航空基地(千葉縣木更津市)
申本海軍航空隊	和歌山縣西牟婁郡	
宇佐海軍航空隊	大分縣宇佐郡	
小松島海軍航空隊	德島縣那賀郡	
詫間海軍航空隊	香川縣三豐郡	
徳島海軍航空隊	徳島縣板野郡	
高知海軍航空隊	高知縣香美郡	
姫路海軍航空隊	兵庫縣加西郡	
松山海軍航空隊	愛媛縣溫泉郡	
吳海軍航空隊	吳軍港	

三十九

1887

20

1888
1889
1890

30,40,3

吳 鎮 守 府

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

第九三八海軍航空隊	第九三六海軍航空隊	第九三四海軍航空隊	第九三二海軍航空隊	第九三一海軍航空隊	第六三四海軍航空隊	第三四一海軍航空隊	第三三二海軍航空隊	第三三一海軍航空隊	第一四一海軍航空隊	第一三一海軍航空隊	第三一海軍航空隊	非島海軍航空隊	西カロリン海軍航空隊	築城海軍航空隊	佐伯海軍航空隊
													パラオ	福岡縣築上郡	大分縣佐伯市
吳航空基地(廣島縣吳市)	吳航空基地(廣島縣吳市)	佐伯航空基地(大分縣南海郡)	佐伯航空基地(大分縣南海郡)	佐伯航空基地(大分縣佐伯市)	岩國航空基地(山口縣岩國市)	松山航空基地(愛媛縣温泉郡)	岩國航空基地(山口縣岩國市)	佐伯航空基地(大分縣佐伯市)	大分航空基地(大分縣大分市)	松山航空基地(愛媛縣温泉郡)	姫路航空基地(兵庫縣加西郡)	吳軍港			

三〇ノボ〇ノ三

丙十九

30,409

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管ノ名稱及所在地又ハ原駐基地

博多海軍航空隊	福岡縣糟屋郡
福岡海軍航空隊	福岡縣糸島郡
大村海軍航空隊	長崎縣東彼杵郡
出水海軍航空隊	鹿兒島縣出水郡
第二出水海軍航空隊	鹿兒島縣出水郡
高雄海軍航空隊	臺灣高雄州岡山郡
第二高雄海軍航空隊	臺灣高雄州岡山郡
虎尾海軍航空隊	臺灣臺南州虎尾郡
臺南海軍航空隊	臺灣臺南州新豐郡
上海海軍航空隊	上海
青島海軍航空隊	青島
人吉海軍航空隊	熊本縣球磨郡
第二臺南海軍航空隊	臺灣臺南州臺南市
垂水海軍航空隊	鹿兒島縣肝屬郡
第二鹿屋海軍航空隊	鹿兒島縣鹿屋市
中良海軍航空隊	鹿兒島縣肝屬郡

三〇ノ四〇ノ五

四十九

1891

3014D15

佐世保鎮守府

第一類官制
海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

第四五二海軍航空隊	第三五二海軍航空隊	第二五六海軍航空隊	第二五四海軍航空隊	第二五二海軍航空隊	第一五三海軍航空隊	濠北海軍航空隊	臺灣海軍航空隊	南西諸島海軍航空隊	九州海軍航空隊	沖繩海軍航空隊	元山海軍航空隊	鎮海海軍航空隊	國分海軍航空隊	佐世保海軍航空隊	鹿兒島海軍航空隊
							臺灣新竹州新竹市	沖繩縣島尻郡	鹿兒島縣鹿屋市	沖繩縣島尻郡	朝鮮咸鏡南道德源郡	鎮海要港	鹿兒島縣始良郡	佐世保軍港	鹿兒島縣鹿兒島市
佐世保航空基地(長崎縣佐世保市)	大村航空基地(長崎縣東彼杵郡)	大村航空基地(長崎縣東彼杵郡)	大村航空基地(長崎縣東彼杵郡)	鹿兒島航空基地(鹿兒島縣鹿兒島市)	新竹航空基地(臺灣新竹州新竹市)	鹿屋航空基地(鹿兒島縣鹿屋市)									

三〇ノ四〇ノ五

丙十九

1892

1893
1894
1895

FD, 40, 6

第一類 官制 海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地

三〇ノ四〇ノ六

舞鶴鎮守府	舞鶴海軍航空隊	舞鶴軍港	
	美保海軍航空隊	鳥取縣西伯郡	
	滋賀海軍航空隊	滋賀縣滋賀郡	
小松海軍航空隊 石川縣小松市			
第九五八海軍航空隊		指宿航空基地(鹿兒島縣指宿郡)	
第九五五海軍航空隊		佐世保航空基地(佐世保軍港)	
第九五四海軍航空隊		指宿航空基地(鹿兒島縣指宿郡)	
第九五三海軍航空隊		東港航空基地(臺灣高雄州東港郡)	
第九五二海軍航空隊		東港航空基地(臺灣高雄州東港郡)	
第七六一海軍航空隊		新竹航空基地(臺灣新竹州新竹市)	
第七六二海軍航空隊		鹿屋航空基地(鹿兒島縣鹿屋市)	
		新竹航空基地(臺灣新竹州新竹市)	
		笠ノ原航空基地(鹿兒島縣鹿屋市)	
		築城航空基地(福岡縣築上郡)	
		指宿航空基地(鹿兒島縣指宿郡)	

丙十九

22

3041

●航空基地管理ニ關スル件

昭和十八年一月七日
内令第十一號

改正 昭和十八年第五九四號、第一一三號、第一三〇號、第一六五八號、第一八〇七號、第一九二五號、第二〇五二號、第二三〇九號、第二三九〇號、一九九〇號、第二九〇號、第四〇八號、第四五〇號、第六二二號、第六六二號、第六七六號、第七七一號、第八四八號、第九〇八號、第九〇五號、第九〇五號、第九〇五號

航空基地管理ニ關シ左ノ通定ム
昭和十七年内令第九百八十九號ハ之ヲ廢止ス

航空基地	管理 部 隊
北海道、千島及樺太所在ノ航空基地	第十二航空艦隊
樺山航空基地	大湊海軍航空隊
三澤航空基地	第一二航空艦隊
香取航空基地	
茂原航空基地	關東海軍航空隊
木更津航空基地	
横濱航空基地	第八〇一海軍航空隊
厚木航空基地	第三〇二海軍航空隊

第一類官制 航空基地管理ニ關スル件

3041

南四諸島水上航空基地	沖繩海軍航空隊
南西諸島陸上航空基地	南西諸島海軍航空隊
濟州島航空基地	大村海軍航空隊
元山航空基地	第四五三海軍航空隊
指宿航空基地	
種子島航空基地	九州海軍航空隊
笠ノ原航空基地	
鹿屋航空基地	
鹿兒島航空基地	築城海軍航空隊
富高航空基地	横須賀海軍航空隊
大分航空基地	松山海軍航空隊
松山航空基地	第二美保海軍航空隊
峯山航空基地	
南島航空基地	南方諸島海軍航空隊
硫黃島航空基地	關東海軍航空隊
八丈島航空基地	第二〇一海軍航空隊
第二鈴鹿航空基地	

三〇四一

丙十九

1896

30,42

東 港 航 空 基 地	臺 中 航 空 基 地	臺 東 航 空 基 地	新 竹 航 空 基 地	臺 北 航 空 基 地
第九五三海軍航空隊	虎尾海軍航空隊	臺灣海軍航空隊		

第一類 官制 航空基地管理ニ關スル件

下白

丙十九

三〇〇三

1897

30,42,2

第一類官制 海軍練習航空隊ニ指定ノ件

豐橋海軍航空隊	垂水海軍航空隊	國分海軍航空隊	鹿兒島海軍航空隊	人吉海軍航空隊	第二出水海軍航空隊	大村海軍航空隊	松島海軍航空隊	宇佐海軍航空隊	築城海軍航空隊	福岡海軍航空隊	博多海軍航空隊	松山海軍航空隊	高知海軍航空隊	詫間海軍航空隊	徳島海軍航空隊	姫路海軍航空隊
---------	---------	---------	----------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

30,42,2

右海軍練習航空隊卜定メラル

第三一海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊	第一一海軍航空隊	第一二海軍航空隊
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

三〇ノ四二ノ二

1899

●海軍練習航空隊ノ所掌事項

昭和十八年十月一日
内令第二千五百五十五號

改正 昭和十八年第二五六九號、一九年第二一號、第一三七號、第二八九號、第三三二號、第三七四號、第四五一號、第四九七號、第五二二號、第六二四號、第六七六號、第七二七號、第八三二號、第八六三號、第九二六號、九四九號、第九五七號、
海軍練習航空隊ノ所掌事項ハ別ニ定ムルモノノ外左ノ通定ム
昭和十八年内令第三百七號ハ之ヲ廢止ス
霞ヶ浦海軍航空隊

- 一 飛行學生ノ教育
- 二 陸上機及艦上機ノ操縦ヲ專修スル飛行術練習生、豫備學生及飛行科豫備練習生ノ教育但シ豫備學生ニ在リテハ基礎教程ヲ除ク

筑波海軍航空隊、百里原海軍航空隊、神ノ池海軍航空隊、谷川部海軍航空隊、名古屋海軍航空隊、第二美保海軍航空隊、姫路海軍航空隊、徳島海軍航空隊、博多海軍航空隊、築城海軍航空隊、宇佐海軍航空隊、大村海軍航空隊、出水海軍航空隊、國分海軍航空隊、元山海軍航空隊、高雄海軍航空隊、虎尾海軍航空隊、第三一海軍航空隊

陸上機及艦上機ノ操縦ヲ專修スル飛行學生、飛行術練習生、

第一類 官制 海軍練習航空隊ノ所掌事項

⑩ 2043

豫備學生及飛行科豫備練習生ノ教育但シ飛行學生及豫備學生ニ在リテハ基礎教程ヲ除ク

臺南海軍航空隊、第一一海軍航空隊、第一二海軍航空隊
陸上機及艦上機ノ操縦ヲ專修スル飛行術練習生ノ教育

第二高雄海軍航空隊
射撃術ヲ專修スル飛行術練習生ノ教育

鹿島海軍航空隊、北浦海軍航空隊、第二河和海軍航空隊、大津海軍航空隊、詔開海軍航空隊

水上機ノ操縦ヲ專修スル飛行學生、飛行術練習生、豫備學生及飛行科豫備練習生ノ教育但シ飛行學生及豫備學生ニ在リテハ基礎教程ヲ除ク

豊橋海軍航空隊、松島海軍航空隊、第一三海軍航空隊

- 一 陸上攻撃機ノ操縦ヲ專修スル飛行學生、飛行術練習生及豫備學生ニ對スル實用機教程
- 二 射撃術ヲ專修スル飛行術練習生ノ教育

大井海軍航空隊、鈴鹿海軍航空隊、高知海軍航空隊、上海海軍航空隊、青島海軍航空隊

偵察術ヲ專修スル飛行術練習生及豫備學生ノ教育但シ豫備學生ニ在リテハ基礎教程ヲ除ク

内十九

1900

三〇ノ三三

追濱海軍航空隊

飛行機整備學生、特修科學生、高等科飛行機整備術練習生、普通科飛行機整備術練習生、飛行機整備術ヲ專修スル豫備學生及整備科豫備練習生ノ教育

藤澤海軍航空隊

高等科兵器術(航空無線兵器)練習生、普通科兵器術(航空無線兵器)練習生、兵器整備術(航空無線兵器)ヲ專修スル豫備學生及整備科豫備練習生ノ教育

相模野海軍航空隊、第二相模野海軍航空隊、河和海軍航空隊、那山海軍航空隊、第二那山海軍航空隊、香取海軍航空隊、人吉海軍航空隊、第二出水海軍航空隊、第二臺南海軍航空隊、岡崎海軍航空隊、第二岡崎海軍航空隊、中良海軍航空隊

高等科飛行機整備術練習生及普通科飛行機整備術練習生ノ教育

洲ノ埼海軍航空隊

兵器整備學生、特修科學生、高等科兵器整備術練習生、普通科兵器整備術練習生及兵器整備術ヲ專修スル豫備學生ノ教育
垂水海軍航空隊
兵器整備術(雷爆)ヲ專修スル普通科兵器整備術練習生ノ教育

⑤30144

第二鹿屋海軍航空隊

兵器整備術(射爆)ヲ專修スル普通科兵器整備術練習生ノ教育
土浦海軍航空隊、三重海軍航空隊、福岡海軍航空隊、鹿児島海軍航空隊、松山海軍航空隊、美保海軍航空隊、滋賀海軍航空隊、三澤海軍航空隊、清水海軍航空隊、小松海軍航空隊、飛行機整備術練習生ノ教育

二 豫備學生(飛行)及飛行科豫備練習生ニ對スル基礎教程ノ教育

三 航空ニ關スル適性

横須賀海軍航空隊

一 航空ニ關スル研究實驗

二 海軍ニ於ケル航空術教育ノ規畫ニ關スル研究及調査

三 操式、教範、航空術年報等ニ關スル研究及調査

四 高等科飛行學生、高等科飛行機整備學生、高等科兵器整備學生、特修科學生、專攻科學生及特修科飛行術練習生ノ教育

⑤30144

教育

四十九

航空管制協定覺書ノ件

昭和十五年八月十七日
官房機密第五五三二號

(海軍省副官ヨリ各縣、要參謀長宛)

航空管制協定覺書ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ陸海軍間ニ於テ別紙ノ通協定セラレ候條了知相成度

(別紙)

昭和十五年五月六日

陸軍 次官
海軍 次官

航空管制協定覺書

陸軍航空隊(飛行學校)及海軍航空隊ニ於ケル飛行教育訓練上空中錯綜防止ノ爲之方管制ニ關シ陸海軍間ニ於テ左ノ通協定ス

記

一、陸海軍航空部隊(飛行學校)及常時使用スル飛行場ヲ中心トスル概ネ半徑十軒ノ空域ヲ夫々陸海軍航空部隊(飛行學校)ノ航空管制區域トス
但シ相互重複スル管制區域ハ先ニ航空部隊(飛行學校)ヲ

第一類 官制 航空管制協定覺書ノ件

30,47

陸海軍

(附記) 陸海軍航空隊(飛行學校)ヲ新設セントスル場合ハ相互ニ(既設ノモノヲ含ム)四十軒以上離隔スルモノトス若シ右以內ノ距離ニ新設セントスル場合ハ豫メ協議スルモノトス

三〇ノ四七

設置セル隊(學校)ノ管制區域トス

二、空中戦闘、空中射撃、爆撃、夜間飛行及計器飛行等ノ飛行作業ハ相互ニ他隊(學校)ノ航空管制區域ニ於テ實施セザルモノトス

三、特別ノ事由ニヨリ前二項ノ管制ニヨルコトナク飛行作業ノ實施ヲ要スル場合竝ニ第一項ノ管制空域以外ノ隣接空域ノ使用ニ關シテハ豫メ相互通報協議スルモノトス

四、陸海軍所屬飛行機ハ夫々他軍所屬航空部隊(學校)ノ航空管制區域ヲ通過スルコトハ努メテ之ヲ避クルモノトス
但シ已ムヲ得ズ之ヲ通過スル場合ニハ特別ノ事情ナキ限り

高度二、〇〇〇米以上ヲ保持スルモノトス此ノ場合ニ於テモ航空管制區域中心附近通過ハ之ヲ避クルモノトス

五、本協定ニ基キ陸海軍各部隊(飛行學校)ハ空中錯綜防止遠成ノ見地ニ立脚シ其ノ地方的特殊事情ヲ考慮シ細目ヲ協定スルモノトス

(附記)

三十九

1902

第一類官制 海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別

●海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別

昭和十二年五月十四日
内令第二百三十三號

改正 昭和十三年第四二三號、一四年第七六二號、第八一九號、一五年第二六〇號、
第五二二號、第五五二號、第八四九號、第九三七號、第一〇一四號、一六年第
四五二號、第五一七號、第五八六號、第七一九號、第八二二號、第九七八號、

海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別左ノ通定メラル

第一〇八八號、第一四四七號、第一四七六號、一七年第三〇號、第六九號、第
一三九號、第四六二號、第六二八號、第七六七號、第八九六號、第二六一號、
第二三八四號、第五三三號、第五三三號、第一九〇九號、一八年第五三四
號、第一〇八二號、第一六四〇號、一九年第三八二號、第三九五號、第五六九
號、第八九九號

三〇ノ四八

所屬	名稱	所在地		種別	分遣隊		
		本	支		所在地	種別	
府 守 鎮 賀 須 横	東京海軍通信隊東	須賀	甲、丙	船橋	乙	蟹ヶ谷	丙
						白鷺	乙
府 守 鎮 賀 須 横	横須賀海軍通信隊横	須賀	甲、丙、戊	船橋	乙	初聲	丙、丁、戊
						白鷺	丁

丙十九

1903

30,53

●陸海軍(除航空)技術委員會規約

昭和十七年六月十三日
官房機密第七二八八號

改正 昭和十七年第七二八八號ノ二、一八年官房機密第一〇四四號ノ二、一九九年第二〇三號、第九三三號、第一二八八號

陸海軍(除航空)技術委員會規約左ノ通定ム

陸海軍(除航空)技術委員會規約

- 一 陸軍及海軍ニ於ケル科學技術(除航空)ノ研究、調査等ノ相互援助ヲ圖ル目的ヲ以テ陸海軍(除航空)技術委員會ヲ置ク
- 二 本會ハ陸軍及海軍ニ於ケル科學技術(除航空)ノ研究、調査等ニ關シ相互ニ協力援助スルヲ有効ナリト認メラルル案件ニ就キ審議スルモノトス
- 三 本會ニ於ケル協定事項ハ關係箇所ニ於テ常務ヲ以テ實行ニ移スモノトス
- 四 本會ハ陸軍省兵器行政本部長及海軍艦政本部長ヲ委員長トシ陸海軍大臣之ヲ主管ス
- 五 委員長ノ下ニ委員及幹事ヲ置ク
- 五 本會ハ概テ第一分科(火器)、第二分科(彈藥除火藥、爆藥)、

第一類 官制 陸海軍(除航空)技術委員會規約

- 第三分科(火藥、爆藥)、第四分科(化兵)、第五分科(測器)、第六分科(通信及電氣)、第七分科(材料)、第八分科(音波及磁氣)、第九分科(機關)、第十分科(舟艇)ノ十分科ニ分テ各各専門事項ノ審議ヲナスモノトス

- 六 委員長ハ會務ヲ總理スルモノトス
- 七 委員ハ議案ヲ審議スルモノトス
- 八 幹事長ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル庶務事項ヲ統理シ且交互ニ委員會ヲ主宰スルモノトス
- 九 幹事ハ幹事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
- 十 委員會ノ編成別表ノ如シ

附則

昭和十六年二月十二日官房機密第一二四九號ハ之ヲ廢止ス

三〇ノ五三

(別表)

委				
科分五第	科分四第	科分三第	科分二第	科分一第
海軍技術研究所部員	海軍艦政本部部員 東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長)	海軍艦政本部部員 東京第二陸軍造兵廠廠員(研究所部員)	海軍艦政本部部員 大阪、相模若、東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長)	陸軍兵器行政本部技術部部員 第一若、第七陸軍技術研究所部員 海軍艦政本部部員
海軍艦政本部部員	陸軍兵器行政本部技術部部員 第六陸軍技術研究所部員 東京第二陸軍造兵廠廠員(研究所部員)	陸軍兵器行政本部技術部部員 第八若、第一陸軍技術研究所部員 東京第二陸軍造兵廠廠員(研究所部員)	陸軍兵器行政本部技術部部員 第一若、第七陸軍技術研究所部員 海軍艦政本部部員	陸軍兵器行政本部技術部部員 第一若、第七陸軍技術研究所部員 大阪、相模若、東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長)
海軍技術研究所部員	海軍艦政本部部員 東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長)	海軍艦政本部部員 東京第二陸軍造兵廠廠員(研究所部員)	海軍艦政本部部員 大阪、相模若、東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長)	陸軍兵器行政本部技術部部員 第一若、第七陸軍技術研究所部員 海軍艦政本部部員

三〇ノ五四

丙十九

1905

27

30150

第一類 官制 陸海軍(除航空)技術委員會規約

委員長
陸軍兵器行政本部長
海軍艦政本部長

員

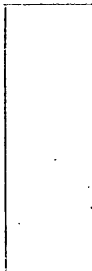
- 科分第十第 海軍艦政本部部長 海軍技術研究所部員
- 科分第九第 陸軍兵器行政本部技術部部員 第三、第四、第七、第八、第十陸軍技術研究所部員 相模陸軍造兵廠廠員 大阪陸軍造兵廠廠員 海軍艦政本部部長 橫須賀海軍工廠機關實驗部部員
- 科分第八第 陸軍兵器行政本部技術部部員 第二、第三、第五、第六、第七陸軍技術研究所部員 東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長) 海軍艦政本部部長 海軍電波本部部長 海軍技術研究所部員
- 科分第七第 陸軍兵器行政本部技術部部員 第八陸軍技術研究所部員 大阪陸軍造兵廠廠員(研究所部員) 海軍艦政本部部長 海軍技術研究所部員
- 科分第六第 陸軍兵器行政本部技術部部員 第三、第五、第六、第七陸軍技術研究所部員 東京第一陸軍造兵廠廠員(製造所長) 海軍艦政本部部長 海軍技術研究所部員

三〇ノ五五

丙十九

二七一一五一一四一一四一一四一一三二一一二一三五一一五一一

1906



幹事長
陸軍兵器行政本部總務部課長
海軍艦政本部課長

幹事
陸軍省軍務局課員
陸軍省整備局課員
陸軍兵器行政本部總務部部員
陸軍兵器行政本部技術部部員
陸軍兵器行政本部調査部部員
海軍省軍務局局員
海軍省兵備局局員
海軍艦政本部部員
海軍技術研究所部員(課長)

備考

- 一 審議ニハ本表ノ外所要ノ關係者ヲ參加セシムルコトヲ得
- 二 委員ハ狀況ニ依リ其ノ所屬分科、所轄及員數ヲ彼此融通スルコトヲ得

1907

●陸海軍電波技術委員會規約

昭和十八年八月十二日
官房軍機密第九四八號ノ三

改正 昭和十九年第八三三號、第二四七號

陸海軍電波技術委員會規約別冊ノ通定ム

(別冊)

陸海軍電波技術委員會規約

第一條 陸軍及海軍ニ於ケル電波兵器ノ研究、實驗等ニ關シ相互ニ協力援助シテ之ヲ推進シ電波兵器技術ノ躍進ヲ圖ル目的ヲ以テ陸海軍電波技術委員會(以下單ニ委員會ト稱ス)ヲ置ク

第二條 委員會ハ陸軍及海軍ニ於ケル電波兵器ノ研究、實驗、

試作及審査並ニ生産移行等ニ關シ相互ニ協力援助スルヲ有效

ナリト認メラルル案件ニ就キ審議スルモノトス

前項ノ審議ニ當リテハ各軍電波兵器ニ關スル機密事項ノ開陳

ニ付特ニ制限ヲ設ケザルモノトス

第三條 委員會ニ於ケル審議決定事項ハ各軍ニ於テ速ニ之ヲ常務機關ニ移シ實行スル如ク措置スルモノトス

第一類 官制 陸海軍電波技術委員會規約

第四條 委員會ハ陸軍次官及海軍次官ヲ委員長トシ陸海軍大臣之ヲ主管ス

委員長ノ下ニ副委員長、委員、幹事長及幹事ヲ置ク

前項ノ外特別委員ヲ置キ部外ノ學識經驗アル者ノ中ヨリ陸海軍大臣之ヲ依囑ス

第五條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第六條 副委員長ハ委員長ヲ輔佐ス

第七條 委員及特別委員ハ議案ヲ審議ス

第八條 幹事長ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル庶務ヲ統理シ且交互ニ委員會ヲ主催ス

第九條 幹事ハ幹事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

第十條 委員長ハ議案審議上ノ必要ニ應ジ第四條ノ諸員ノ一部共ノ他所要ノ者ヲ以テ臨時ニ小委員會ヲ組織スルコトヲ得

第十一條 委員會ノ編制別表ノ如シ

附則

陸海軍(除航空)技術委員會及陸海軍航空委員會規約中本委員會規約ニ包含セラレベキ事項ハ當該委員會規約ヨリ之ヲ除外スルモノトス

30,64,1

30,64,1

三〇ノ六四ノ一

1908

30,84.2

65

(別表)

第一類官制 陸海軍電波技術委員會規約

備考 一 審議ニハ本表ノ外所要ノ關係者ヲ参加セシムルコトヲ得
二 兼務委員ハ幹事長ノ兼務トス

長	員	委
海軍次官		陸軍次官
長	員	委 副
電波技術研究所長		多摩陸軍技術研究所長

幹事			長事幹		員 委							
海軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍	海軍	海軍	海軍	海軍	陸軍	陸軍	陸軍
軍需省航空兵器總局第二局電器課課員	海軍電波本部員	多摩陸軍技術研究所員	海軍技術研究所員	多摩陸軍技術研究所員	同	同	海軍航空技術研究所員	海軍航空技術研究所員	海軍航空技術研究所員	海軍航空技術研究所員	海軍航空技術研究所員	海軍航空技術研究所員
一		二										

三〇、六四、二

丙十九

1909

陸海軍技術運用委員會規約

昭和十九年九月五日
官務廳機密第廿廿號
二六〇

陸海軍技術運用委員會規約左ノ通定ム

陸海軍技術運用委員會規約

第一條 陸海軍ニ於ケル科學技術運用ノ一體化ヲ其現シ且戰局

ニ即應スル科學技術ノ即時戰力化ト決戰兵器ノ迅速開滑ナル

量産化トヲ圖ル爲陸海軍技術運用委員會（以下單ニ委員會ト

稱ス）ヲ置ク

委員會ハ前項ノ外陸海軍（除航空）技術委員會、陸海軍航空

技術委員會、陸海軍電波技術委員會及陸海軍燃料技術委員會

ノ調整ニ關スル事項ノ審議ニ任ズルモノトス

第二條 委員會ハ陸海軍大臣之ヲ主管シ陸軍次官及海軍次官ヲ

委員長トス

委員長ノ下ニ副委員長、委員、幹事及委員輔佐ヲ置ク

部外ノ委員ハ關係各廳高等官又ハ部外ノ學識經驗アル者ノ中

ヨリ陸海軍大臣之ヲ依囑ス

委員會ノ組織別表ノ如シ

第三條 委員長ハ會務ヲ總理ス

副委員長ハ委員長ヲ輔佐ス

第四條 委員ハ議案ヲ審議ス

第一類官制 陸海軍技術運用委員會規約

丙十九

委員輔佐ハ委員ヲ輔佐ス

第五條 幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル庶務事項ヲ掌

理ス

第六條 委員會ノ運営ニ關シ必要アル時ハ陸海軍（除航空）技

術委員會、陸海軍航空技術委員會、陸海軍電波技術委員會及

陸海軍燃料技術委員會委員ヲ臨時委員トシテ出席セシメ又所

要ニ應ジ委員以外ノモノヲ臨時出席セシムルコトヲ得

第七條 委員長必要アリト認ムルトキハ委員會ニ専門委員會ヲ

附置スルコトヲ得

第八條 委員會ニ於ケル協議決定事項ハ陸海軍ニ於テ速ニ之ヲ

常務機關ニ移シ實行スルモノトス

第九條 委員會ニ於ケル審議ニ方リテハ目的達成ノ爲必要ナル

陸海軍科學技術ニ關スル機密事項ハ總テ之ヲ開陳スルモノト

ス

㊦

30,649

三〇ノ六四ノ九

1910

30

注意

30,64,10

備考

部外ノ委員、幹事及委員輔佐ハ陸海軍囑託トス

委員長	陸軍省軍務局長
副委員長	海軍省軍務局長

外 部	軍 海	軍 陸	分區
工學博士 眞島正市 工學博士 中西不二夫 工學博士 田中芳雄 工學博士 潮藤象二 理學博士 關口鯉吉 理學博士 掛谷宗一 工學博士 八木秀次 文部省科學局長 技術院總務部長 內閣參事官一 (兼)	軍需省航空兵器總局總務局長 軍需省航空兵器總局總務局長 海軍電波本部總務部第一課長 海軍航空本部總務部第一課長 海軍艦政本部總務部第一課長 軍令部第三課長 海軍省兵備局第二課長 海軍省軍務局第一課長	陸軍航空本部總務部總務課長 多摩陸軍技術研究所員一 陸軍兵器行政本部總務部第一課長 參謀本部第三課長 陸軍省軍務局軍事課長 陸軍省軍務局軍事課長 (兼)	陸軍省軍務局軍事課長 陸軍省整備局戰備課長 參謀本部第三課長 陸軍兵器行政本部總務部第一課長 陸軍航空本部總務部總務課長 多摩陸軍技術研究所員一 海軍省軍務局局員 海軍省兵備局局員 軍令部部員 海軍艦政本部總務部部員 海軍航空本部總務部部員 海軍電波本部總務部部員 軍需省航空兵器總局局員二 軍需省航空兵器總局局員二 技術院總務部總務課長 文部省科學局研究動員課長

丙十九

1911

注意
六期三九

第一類 官制 陸海軍技術運用委員會規程

三〇、六四、一〇

1912

分區	陸軍	海軍
委員	陸軍省軍務局軍專課長 陸軍省整備局戰備課長 參謀本部第三課長 陸軍兵器行政本部總務部第一課長 陸軍航空本部總務部總務課長 多摩陸軍技術研究所員	海軍省軍務局第二課長 海軍省兵備局第二課長 軍令部第三課長 海軍艦政本部總務部第一課長 海軍航空本部總務部第一課長
幹事	陸軍省軍務局軍專課長 (兼)	海軍省軍務局第一課長 (兼)
委員 員 輔 佐	陸軍省軍務局課員 陸軍省整備局課員 參謀本部部員 陸軍兵器行政本部部員 總務部部員 陸軍航空本部總務部部員 多摩陸軍技術研究所員	海軍省軍務局員 海軍省兵備局員 軍令部部員 海軍艦政本部總務部部員 海軍航空本部總務部部員

1911

丙十九

陸軍

● 呂號乙藥委員會規約

昭和十九年九月十六日
官務軍機密第三四號

呂號乙藥委員會規約左ノ通定ム

第一條 呂號乙藥委員會規約

第一條 呂號乙藥(特殊兵器用燃燒劑)ノ生産竝ニ之ヲ陸海軍間ニ於ケル配分及使用兵器等ニ關スル綜合計畫ヲ策定スル爲陸軍省、海軍省及軍需省間ニ呂號乙藥委員會(以下單ニ委員會ト稱ス)ヲ置ク

第二條 委員會ニ於ケル協議決定事項ハ陸海軍及軍需省ニ於テ速ニ之ヲ常務ニ移シ實行スルモノトス

第三條 委員會ハ陸海軍大臣及軍需大臣之ヲ主管シ陸軍省軍務局長、海軍省軍務局長及軍需省總動員局長ヲ委員長トス

委員長ノ下ニ委員幹事及委員輔佐ヲ置キ其ノ組織ヲ別表ノ通定ム

第四條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第五條 委員ハ議案ヲ審議ス
委員輔佐ハ委員ヲ輔佐ス
議案ノ内容ニ依リ委員若ハ同輔佐ノ一部ヲ以テ審議シ又所要ニ應ジ分科會ヲ設クルコトヲ得

第一類 官制 呂號乙藥委員會規約

第六條 幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル庶務事項ヲ掌理ス

附則

委員會ノ運営ニ關シ必要アル場合ハ委員以外ノモノヲ臨時出席セシムルコトヲ得

丙十九

1913

⑤ 30.64.11

近

三〇六四二二

30,64,12

22

注意

六月三十一日

別表

委員長
陸軍省軍務局長
海軍省軍務局長
軍需省總動員局長

備考

委員及同輔佐欄中海軍省軍需局特務部員中各一ハ陸軍及軍需省ヨリノ兼勤者ヲ充當スルモノトス

第類官制 呂孫乙榮本員會規約

佐	輔	員	委	事	幹	員	委	
陸軍航空本部總務部部員	陸軍兵器行政本部總務部部員	參謀本部部員	陸軍省軍務局課員	陸軍省軍務局軍事課長	(兼務)	陸軍航空本部總務部總務課長	陸軍省軍務局軍事課長	陸軍省軍務局長
海軍省軍需局特務部部員	海軍航空本部總務部部員	海軍艦政本部總務部部員	軍令部部員	海軍省軍務局第一課長	(兼務)	海軍省軍需局特務部部員	海軍省軍務局第一課長	海軍省軍務局長
軍需省航空兵器總局	軍需省航空兵器總局	軍需省化學局課員	軍需省總動員局	軍需省總動員局總務部總務課長	(兼務)	軍需省航空兵器總局第三局化學課長	軍需省總動員局總務部總務課長	軍需省總動員局長

丙十九

三〇ノ六四ノ二

1914

●南方政務部委員會組織ニ關スル件

昭和十六年十二月八日
官房機密第一一五三三號ノ二

(海軍大臣ヨリ南方政務部長宛)

南方政務部委員會組織ニ關スル件訓令

部長ハ左記ニ依リ南方地域ニ關スル政治、經濟開發、物資取得等ニ關スル事務ヲ統一シ且之ガ實行ニ任ズベシ

記

一名稱

南方政務部

二内容

(1) 關係局部ノ職員ヲ部長、副長及部員トスルノ外常務的ニ事務ヲ處理スル部員(辭令上ハ軍務局局長、艦政本部出仕等トシ部内限リ南方政務部員ヲ命ジ實質的ニ南方政務部ニ常勤セシムルモノトス)ヲ置キ常務機關的性質ノモノトス但シ事務處理ニ關シテハ南方政務部ハ之ヲ他ノ局部下對立スル機關トハセズ政務部ニ於テ關係局部下緊密ニ連絡シテ方針ヲ樹立シ關係局部下右方針ニ基キ所要ノ事務ヲ實行

第一類 官制 南方政務部委員會組織ニ關スル件

30,65

得

スル如ク運営スルモノトス
(四) 南方政務部長ニハ軍務局長ヲ以テ之ニ充ツ
(ハ) 左ノ職員ヲ政務部副長ニ充テ各局部下代表シテ連絡及事務處理ニ任ズルモノトシ重要事項ニ付合議立案スルモノトス
調査課長
軍務局第一課長
軍務局第二課長
兵備局第二課長
軍令部第一部甲部員
(ニ) 常勤部員ハ調査課長ノ命ヲ承ケ服務ス
常勤部員左ノ如シ
兵科 佐官
兵科 機關科佐官
主計科 佐官
(六) 前項ノ外必要ニ應ジ兼務部員其ノ他ノ人員ヲ置クコトヲ

三〇ノ六五

1915